

Sera Museum Concert

伍 芳 (古箏) 大城 貴幸 (三線)

中国の古箏、沖縄の三線 饗宴



神戸 世良美術館

開館 25 周年記念公演

17.6/24 (土) ①12:30開演 ②15:30開演 (開場 30 分前)

全席自由席 各80席 予約制 3,500 円 ペアー券 6,500 円

お申込み先 TEL (078) 822-6456 (世良美術館)、 世良美術館予約サイトより

Mail : worldmusic-ai@kcc.zaq.ne.jp

チケットは先にご送付(送料 100 円)、お支払いは同封の郵便振り込み用紙にて。

神戸国際会館プレイガイド : 078-230-3300

伍 芳 (Wu Fang)

大城 貴幸 (Takayuki Ooshiro)



世良美術館 **Sera Museum**

〒658-0047 神戸市東灘区御影2丁目5-21

(阪急御影駅南口下車 徒歩5分)

TEL (078)822-6456 FAX(078)843-4834

お問合せ・企画 : サウンド・アイ worldmusic-ai@kcc.zaq.ne.jp

= 演奏者 プロフィール =

伍 芳 (ウー・ファン) 【中国古箏演奏家・作曲家・在日中国古箏藝術家学会会員】

中国・上海生まれ。9歳より中国古箏の第一人者、王昌元氏より手ほどきを受ける。その後、中国で最も難関といわれる上海音楽学校に入学。古箏を中心にピアノや音楽の基礎理論などを幅広く学ぶ。1990年7月同校を首席で卒業し、来日。

1996年9月に東芝EMIよりデビュー。日本における現在の中国楽器ブームの先駆けとなる。南こうせつ、東儀秀樹、溝口肇など数々のアーティストと共演。「トップランナー」「徹子の部屋」など多数のテレビラジオ番組に出演のほか、朗読、狂言、人形浄瑠璃文楽、和太鼓とのコラボレーション、皇太子様、雅子様への御前演奏等々、意欲的な演奏活動を行っている。さだまさし原作の映画「精霊流し」の音楽にも参加。グラミー賞を受賞したサックス奏者、KENNY G のジャパントゥアー全公演にゲストとして呼ばれる。

近年、教育活動にも積極的に取り組み、古箏教室を開き古箏の普及にも努めている。2010年上海万博においては、オリジナル曲を中心とした音楽劇「彩虹橋」で公演を行い、故郷である上海で自身の音楽活動にエポックを画するようなイベントとなる。

また、2011年4月～2015年9月ABCラジオ「伍芳(ウー・ファン)のふらっと♪阪神沿線」、2016年4月～9月FMCOLO「中国国家観光局 ウー・ファンといっしょに中国へ」でパーソナリティを務める。2015年1月14日震災復興への祈りをこめたオリジナル曲「あのひとともに」を発表。2015年4月15日に通算11枚目のアルバム「My Favorite Movies」を発売。同年11月神戸市文化奨励賞を受賞。中国の古典、現代曲だけにとどまらず、様々なジャンルに挑戦する一方で、他のアーティストへの楽曲提供など、作曲活動にも力を注ぐ。

Official Website <http://wu-fang.com/>

<https://www.facebook.com/WuFangOfficial>

大城 貴幸 Takayuki Ooshiro 【三線奏者】

1987年1月27日生まれ 南城市大里大城出身 エイサーの地謡をしていた父親の影響で三線をはじめ。沖縄県立南風原高等学校郷土文化コース、沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻、同大学大学院舞台芸術専攻、国立劇場おきなわ第2期組踊研修で三線をはじめ琉球芸能を学ぶ。高校3年時に第二回汗水節大会優秀賞、第18回ラジオ沖縄新唄大会において「咲かさなや〜」新唄大賞を受賞し、オオタカの「咲かさなや〜」でデビュー。これまでにジャパソフアン(二胡)、ウーファン(中国古箏)、フェイグエイロ(大三絃)、浅野祥(津軽三味線)と共演する。現在は琉球古典音楽安富祖流絃管会三線師範、笛教師、伝統組踊保存会三線伝承者であり、国立劇場おきなわをはじめ県内外で琉球古典音楽家として活動する。2015年2アルバム「語いたや」を発売し県内外レコ発ツアー中。島唄グループ「南風ぬ庭」、琉楽ユニット「奏琉〜soul〜」としても活動する中、作詞作曲活動も行い、「ネーネーズ」「南風ぬ庭」「いーどうし」に楽曲を提供する。また大城貴幸三線・笛教室(南城市大里)、奥武山三線教室(那覇市奥武山町)、マナブ倶楽部三線教室(那覇市首里)、非常勤講師として沖縄県立沖縄工業高校、知念高校、南城市立大里南小学校で三線講師として指導する。